

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 小石原川における浚渫工事について		
水系/河川名 : 筑後川水系小石原川	河川分類 : 中小河川	
河川の流域面 85.9	整備計画流量 : 520m <sup>3</sup> /s	セグメント : 1
事業 : 維持管理	事業開始年度 平成30年度	
目標設定 : 定性的	段階 : D(実施・施工時)	
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全、縦断的連続性の保全・再生・創出		
工法(主な) : 掘削(河床)		
配慮事項(主な) : 施工管理		

## 背景・課題、目標設定

## 〈背景〉

小石原川は、福岡県においても特に環境が豊かな河川であり貴重種も多く生息している。平成30年7月豪雨による出水被害を受け、浚渫工事を行うこととなった。

## 〈課題〉

上下流の流下能力バランスや環境にも配慮し、河積を確保する必要がある。

## 〈目標〉

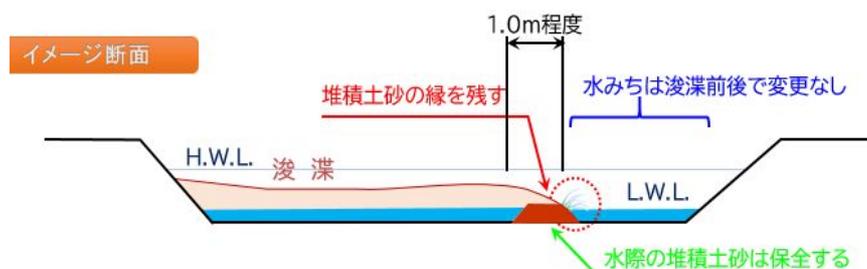
瀬・淵・ワンドや水際の植生を保全するだけでなく、浚渫と一緒にワンドを作成することで環境への配慮を行う。

## 取り組み内容・対策例(1/2)

## ①河川水位+20~30cmラインでの掘削。



## ②水際を残した掘削



## ③あらたにワンドの創出

取り組み内容・対策例 (2/2)

〈整備効果〉

- ・浚渫前後で瀬、淵、ワンド、水際植生が保全され、河積も確保された。
- ・あらたに制作したワンドには稚魚の遊泳がみられ、有効に機能していることが確認された。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

〈今後の対応〉

- ・水面+20cm~30cmのラインでの掘削ならびにワンドの創出を継続的に行う。
- ・創出したワンドについて経過観測を行っていく。

〈アピールポイント〉

- ・「浚渫する際に一緒にワンドを掘りませんか？」
- ・低予算で誰でも施工が可能であること。



備考